

(社) 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会
第 20 回 PLM 分科会 (P14SC) 議事録

1. 日 時 2011 年 8 月 22 日 (月) 13:30~17:30
2. 場 所 原子力安全基盤機構 本館 4 階 4C 会議室
3. 出席者 (敬称略)
(出席委員) 鈴木 (主査), 渡邊 (副主査), 文能 (幹事), 石井, 矢野, 下家, 皆川,
佐名木, 田村, 西山, 萬年, 今村, 三山, 稲垣 (山田代理), 新井,
松本 (松浦代理), 遊佐 (17 名)
(欠席委員) 大木, 橘高, 中野, 望月, 利沢, 青山 (6 名)
(常時参加者) 川内, 鈴木, 中村, 田畑, 本田, 中川
(傍聴者) 副島, 伊藤
(事務局) 不在
4. 配布資料
資料P14SC-20-1 第19回PLM分科会議事録 (案)
P14SC-20-2 人事について (案)
P14SC-20-3-1 PLM実施基準2012年版 (追補3) の専門部会本報告案
P14SC-20-3-2-1 PWRの経年劣化メカニズムまとめ表詳細版: 2012年版 (追補
3) の意見対応 (案)
P14SC-20-3-2-2 PWRの経年劣化メカニズムまとめ表詳細版: 2012年版 (追補
3) の気付き事項対応 (案)
P14SC-20-3-3-1 PWRの経年劣化メカニズムまとめ表学会標準版: 2010年版
(追補1) の正誤表 (案)
P14SC-20-3-3-2 BWRの経年劣化メカニズムまとめ表学会標準版: 2011年版
(追補2) の正誤表 (案)
P14SC-20-3-4 PWRの経年劣化メカニズムまとめ表学会標準版: 2012年版
(追補3) での変更点一覧表 (案) [従来版]
P14SC-20-3-5 経年劣化メカニズムまとめ表の改定方法の変更案
P14SC-20-3-6 保全の有効性評価等からの知見反映検討 (案)
P14SC-20-3-7 PWRの経年劣化メカニズムまとめ表詳細版: 2012年 (追補3
(案)
P14SC-20-3-8 PWRの経年劣化メカニズムまとめ表学会標準版: 2012年 (追
補3) (案)
P14SC-20-3-9 PLM実施基準2012年版 (追補3) (案)
P14SC-20-4-1 PLM実施基準本格改定の課題整理表
P14SC-20-4-2 フレッシング疲労に係る改定課題について (案)

P14SC-20-4-3	中性子照射脆化に関する改定案
P14SC-20-4-4-1	熱時効に係るコメント対応 (案)
P14SC-20-4-4-2	熱時効による不安定破壊の評価条件及び結果
P14SC-20-4-5	コンクリートに関する改定について (案)
P14SC-20-4-6	経年劣化メカニズムまとめ表詳細版確認の簡略案
P14SC-20-4-7	耐震安全性評価まとめ表の作成方針 (案)
P14SC-20-4-8	JEAC4209との調整事項について (案)
P14SC-20-5	国外の高経年化関連の話題や福島の高経年化対策上の問題点など
P14SC-20-6	PLM実施基準本格改定のスケジュール

参考資料

- P14SC-20-参考-1 経年劣化メカニズムまとめ表の正誤表による修正例
(PWR の経年劣化メカニズムまとめ表に関する資料 P14SC-20-3-7,8 は、全体確認依頼のメールで最終版が配布されているため、今回は配布が省略された。)

5. 議事

会議に先立ち、出席委員は代理を含めて 17 名で、定足数を満足している旨確認した。

(1) 前回議事録確認 (P14SC-20-1)

文能幹事より、第 19 回 PLM 分科会議事録 (案) が紹介され、承認された。

(2) 人事 (P14SC-20-2)

・新委員の選任

鈴木主査より、成瀬委員の退任が報告され、新委員として中部電力の山田氏が推薦されている旨説明され、審議の結果新委員として選任された。

(3) PLM実施基準2012年版 (追補3) の専門部会本報告案 (P14SC-20-3-1~9)

文能幹事より、PLM 実施基準 2012 年版 (追補 3) の専門部会本報告案が説明され、審議の結果、下記見直しを行った。

- ・ 3-1 別紙 3 において、現状で NISA は年 1 回技術評価を行っていない。
 - 年 1 回技術評価の記載を消去し、改定を本格改定に変更する。
- ・ 3-1 別紙 4 において、代表機器が変更になった場合の影響 (例) が抽象的で分かりにくい
 - 具体例を出して説明した方が分かりやすいため、そのように変更する。
- ・ 3-6 において、資料がどこから提供されたか、位置付けが分からない。整理表は非公開なので、学会用資料としては出せないのでは？
 - JANTI が組織として行っていることが分かるように、資料のクレジットを記載する。
 - 劣化メカニズム整理表 Rev.3 変更箇所一覧は参考資料として添付する。

(4) PLM 実施基準本格改定の課題整理及び今後の対応案 (P14SC-20-4-1~8)

2012 年から 2013 年の本格改定に向け、抽出された課題について、文能幹事及び各担当委員より、今後の対応案が説明され、以下の委員コメントを反映しながら規格案を準備することが了承された。

- ・ フレッシング疲労
 - 引き続き、最新の文献を調査する。(新井委員)
 - 添付 3 の資料は大学の卒業論文と思われるため、データの信頼性を確認する。
- ・ 熱時効
 - フロー最後の菱形で温度が記載されていないのは、脆化底値で評価しているためであり、この前提を明記すべし。
 - 過去の評価結果の中には非公開データも含まれるため、公開の方向で検討する。
- ・ コンクリート
 - 全てのプラントで△事象であれば附属書 E にその旨記載するなどして、まとめ表から削除することを検討する。
- ・ 耐震まとめ表
 - 耐震まとめ表を活用しても、フローの最後まで残った部位に対しては個別プラントの経年劣化事象の評価から判断する必要がある。耐震担当が経年劣化の評価を容易に判断できるよう、規格での記載の工夫を検討する。
- ・ JEAC4209 との調整
 - 9~10 月ごろから改定作業が始まる。関電の電気協会側委員を窓口として、必要に応じて文能幹事が原子力学会側代表として出席し、調整事項について報告する。

(5) 国外の高経年化関連の話題や福島事故の影響 (P14SC-20-5)

中村氏より、国外の高経年化関連の話題や福島第一発電所の事故の影響について紹介された。

(6) PLM 実施基準本格改定スケジュール (P14SC-20-6)

文能幹事より、PLM 実施基準本格改定スケジュール(案)が説明され、了承された。また、各担当は個別スケジュールの案を文能幹事に提出し、次回分科会で審議することとなった。

6. 今後のスケジュール等

次回分科会は、11月18日(金)に開催予定となった。

以上